

大島公民館

水問題で児童に講演会

世界規模で考えよう

ジャーナリスト 橋本淳司さん 浄化や節約説く

館林市大島公民館で8日、講演会「水の大切な話」が開かれ、館林四小の4-6年生と保護者ら約130人が参加した。

水の問題は世界規模で重要な課題として取り上げられており、小学生時代に水に関する講演を聴き、将来を担う子供たちに水の問題を意識付けてもらうと企画。

講師は世界中の水を研究しているジャーナリストの橋本淳司さん(台宿町)。

橋本さんは、生きるために必要な水、水をきれいにする方法などを質問や挙手などで子供たちと対話しながら講義。顔を洗う、歯を磨く、炊事洗濯やトイレの水を流した時にどれほどの水が使われるのかを、2リットのペットボトルを使って解説。一人が一日に使う水を約322リットルと説明し、「ペットボトル飲料が売っているお店の棚を見て、その量を確認してください」と話した。さらに、薬、生き物、科学の力によって水をきれいにする方



橋本さんの質問に積極的に答える子供たち

法のほか、外国で見聞きした水事情を色やにおい、量などの点から分かりやすく話しかけた。子供たちは、世界の水の汚染状況やそれを巡る争いなどの話に驚きの声をあげていた。

橋本さんの「水の問題、みんなはどうしたらいいと思う」の質問に、子供たちは「浄水場を作る」「海の水をえるようにする」「工場の水は川に流さないで繰り返し使う」と意見を述